

第65回福島県中学校体育大会 駅伝競走大会相双地区予選会大健闘！



よくがんばりました！特設駅伝部の生徒たち

9月7日、第65回福島県中学校体育大会駅伝競走相双地区予選会が、楡葉町総合グラウンド公園内で行われました。時折小雨が降る中でしたが、本校の生徒らは、一生懸命に走り、懸命に襷を繋げることができました。特設駅伝部の生徒らは、夏休み中から早朝練習に励み、また、放課後も先輩と後輩が一つになり、練習に打ち込んできました。記録だけではなく、精神面やチームとしての絆も高めることができました。大会における参加態度や応援マナーも大変立派でした。男子チームは10位、女子チームは4位でした。生徒らの頑張りを賞賛いたします！



女子1区スタートする小林さん



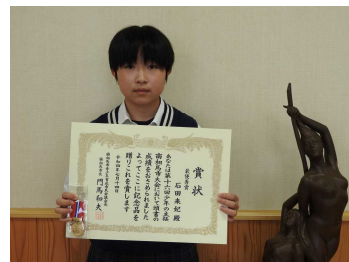
男子1区スタートする門馬さん

＜お願い＞ 9月27日から2泊3日の修学旅行、並びに1, 2年生の学習旅行は、現在のところ実施する予定で計画しています。修学旅行・学習旅行の行事前、3連休が2回続きます。人混みの中でのマスク着用や手洗い、消毒など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、中学生活の良き思い出をつくるためにも、これまで同様に感染対策の徹底を図っていきたいと思います。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



「少年の主張」最優秀賞作品紹介2

第16回「少年の主張」南相馬市大会で、最優秀賞を受賞した3年生石田来妃さんの作品を紹介します。少年の主張は、社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案、そして家庭・学校生活・社会・地域活動及び身の回りや友達との関わりなど、心に思い、考えていることや感じていることについて発表をします。(ともに最優秀賞を受賞した3年生清信晴音さんの作品は前号で紹介しました)



自然豊かな南相馬市に

石神中学校 三年 石田 来妃

みなさんは「自然」についてどのような印象を抱いていますか。最近虫が苦手な人が多く、好んで草むらや森に近づく人は少なくなっていますが、私は疲れた心を癒やしてくれたり、落ち着かせてくれる森林の草木の匂いが大好きです。

しかし、私にとって大きな存在である「自然」が今、消失の危機にあるのです。私の住んでいる南相馬市の郊外は、もともと自然豊かで辺り一面に緑が広がっていました。小さい頃よく祖父と一緒に、虫かごと虫取り網を持って家の周りがある原っぱにバッタやとんぼなどを採りに行きました。夕方になれば毎日のようにキジが鳴き、夜になると蛙やコオロギが大合唱をしていました。ところが、私が成長するとともに家や店舗が次々と建てられ、いつの間にか私の家の周りはだんだん建物の囲まれていきました。そして、全くキジの鳴き声は聞こえなくなり、虫たちも見かけることがなくなってしまいました。また、最近同じ店舗がいくつもあったり、それと似たような店が近い距離で建てられるようになりました。それに対して私は、「なぜ、自然を壊してまでそのような建物を建設しなければならないのか。」と疑問を抱くようになりました。そこで私は、人の手によって自然破壊が進められていくとどのような悪影響を及ぼすのか、考えてみることにしました。まず「自然」には、山や海、川など様々なものがあり、その一つ一つに役割があります。その役割について確認してみましよう。初めに、木々や草木の緑には子供に対して大きな影響力もっています。子供の心身の成長だけでなく、創造性を培わせたりするのです。さらに、共通の場所や時間を共有することで親子の絆を深め、子供との信頼関係を築くための架け橋となってくれます。

それから、植物は動物とは違い二酸化炭素を

使って酸素を作り出すことができるため、地球温暖化を抑制させる効果もあります。近年は異常気象が多発し、気温や海面が急激に上昇しています。最近テレビや新聞でよく見かけるSDGsにも地球温暖化を抑制するための取り組みがあり、このまま更に温暖化が進んでいくと気温上昇による砂漠化、凶作、海面上昇による国土の減少など、多大なる影響を受けるそうです。道端の草花でさえも大切にしなければなりません。次に、海や川などもやはり子供への影響力があり、五感を使う喜びや好奇心、興味を刺激し豊かな感性を育むというものです。またそれらは、私たちの生活にも深い関わりをもっています。

海では、森林から河川によって運ばれる栄養素が海に生息する生き物達の生命を維持させ、食物連鎖を成り立たせています。だから、開拓のために森林伐採が行われると、海へ栄養素が送られなくなり漁獲量が減少したりするのです。海へ悪影響を及ぼされるだけでなく、地盤が緩み、少量の雨で土砂崩れが起きたり、洪水になったりすることもあります。

森林が減少するだけで、海などの自然環境や人間社会まで影響を受けてしまうのです。このように、様々な面で現れてくる悪影響をなくすためには、私たちの身近にある山や海、川を大切にすることが一番です。相互に関わり合っている自然は、一つとして欠かさず守っていくべきなのです。

私は南相馬市の森林や生き物、澄んだ空が大好きです。この先、こののどかな美しさを失わないためには、自然を大切にした土地の利用方法について真剣に考え、見直さなければなりません。この豊かな緑を生かした町の活性化に繋げていくべきだと考えます。そして、誰もが自慢できる豊かな自然の南相馬市であってほしいです。



